

1. はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、有難うございました。取り付け前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。

また、製品は全数検査して出荷しています。お問い合わせいただく前に必ず配線検査を行い、配線に問題がないことを確認してください。

2. 製品構成

- ・コントローラ(水色2)
- ・12ピンハーネス
- ・シートベルトキャンセル用ハーネス
- ・取付説明書

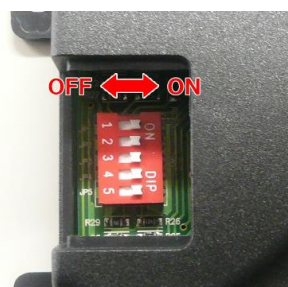
3. 配線方法

線色	極性	説明と主な接続先
① 黒	-	ボディアースへ接続。
② 赤	+	常時電源へ接続。
③ 緑	COM	車速ロックドアロック配線図を参照して配線してください。
④ 青	NC	
⑤ 緑/白	COM	
⑥ 青/白	NC	
⑦ 白	NO	
⑧ 橙 ※	+	ATのPポジションランプへ接続。(Pポジションでプラス) ※ シフトをPポジションにした際にアンロックさせる場合に接続。
⑨ 茶 ※	-	パーキングブレーキ線へ接続。(ブレーキでアース) ※ パーキングブレーキをかけた際にアンロックさせる場合に接続。
⑩ 灰		車速信号へ接続。
⑪ 黄	+	ACCまたはIGへ接続。
⑫ 桃 ※	+	車両の運転席モーターのアンロック線へ接続。(プラスコントロール) ※ 運転席集中ロックスイッチでアンロック後、再度車速ロックさせる場合に接続。

配線するときは必ずコネクタを抜いて作業してください。※は、必要に応じて接続してください。
2ピン桃コネクタは、トヨタ車でシートベルトをしているとロックできない車両の場合のみ配線してください。

4. DIP スwitchの設定方法

コントローラの小窓を開け、中の DIP スwitchで各種設定を変更できます。
設定変更は、必ずコネクタを抜いて行ってください。



ロック速度	遅い(初期設定)	やや遅い	やや速い	速い
DIP スwitch1	ON	OFF	ON	OFF
DIP スwitch2	ON	ON	OFF	OFF

車種によってロック速度は変わります。まず初期設定で配線や動作の検査を行ってください。

その後、変更される場合は、徐々にロック速度を速くしてください。

5. 機能説明

車両が走り出すと自動的にロックします。

⑫桃線を接続した場合は、運転席集中ロックスイッチでアンロックした後、車両が走り出すと再びロックします。
以下のいずれかの条件でアンロックします。アンロックした後、車両が走り出すと再び自動的にロックします。

1. ATレバーをPポジションにする。 (⑧橙線を接続した場合に有効。)
2. パーキングブレーキをかける。 (⑨茶線を接続した場合に有効。)
3. ACCをオフする。(エンジンを止める)

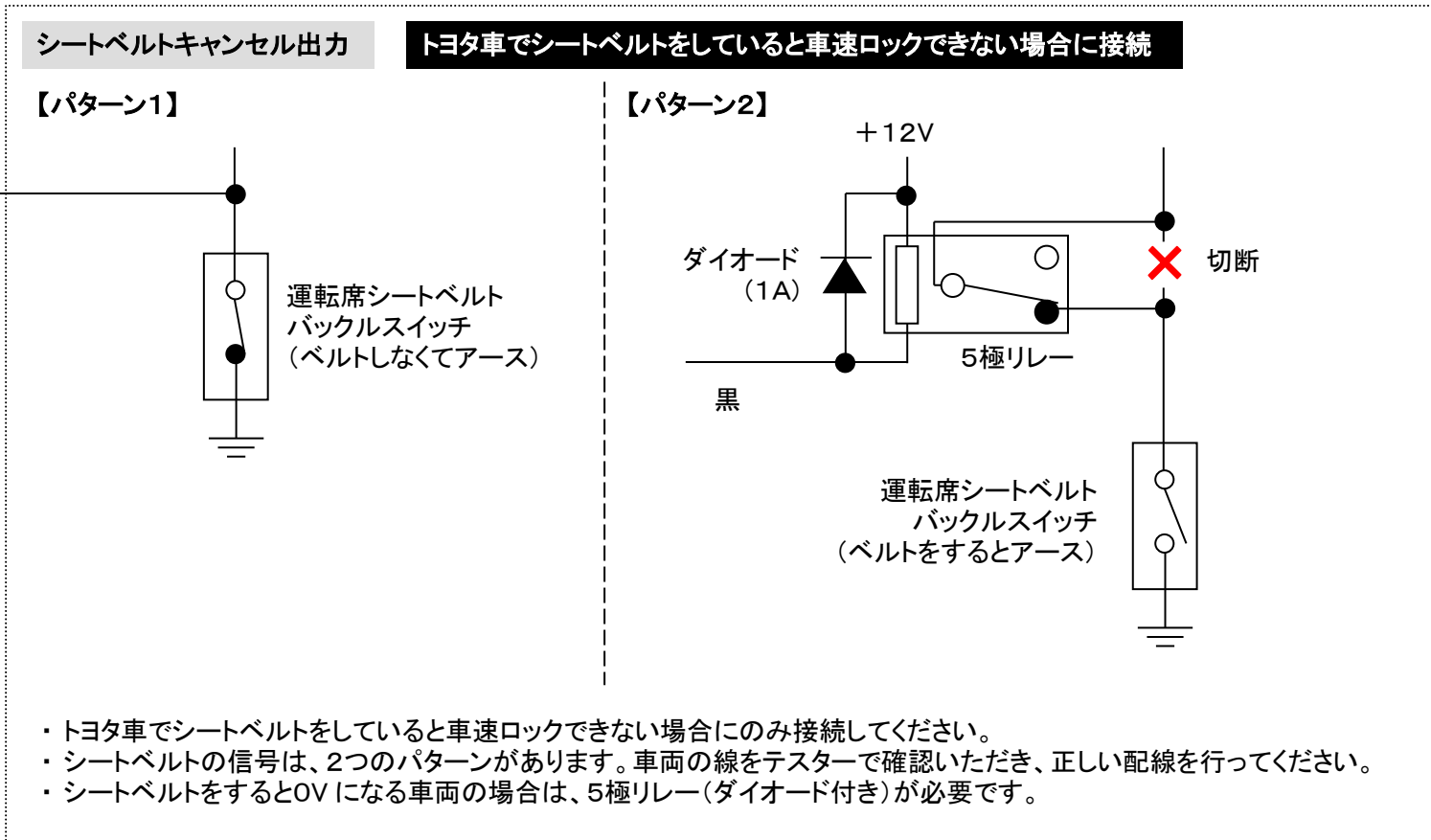
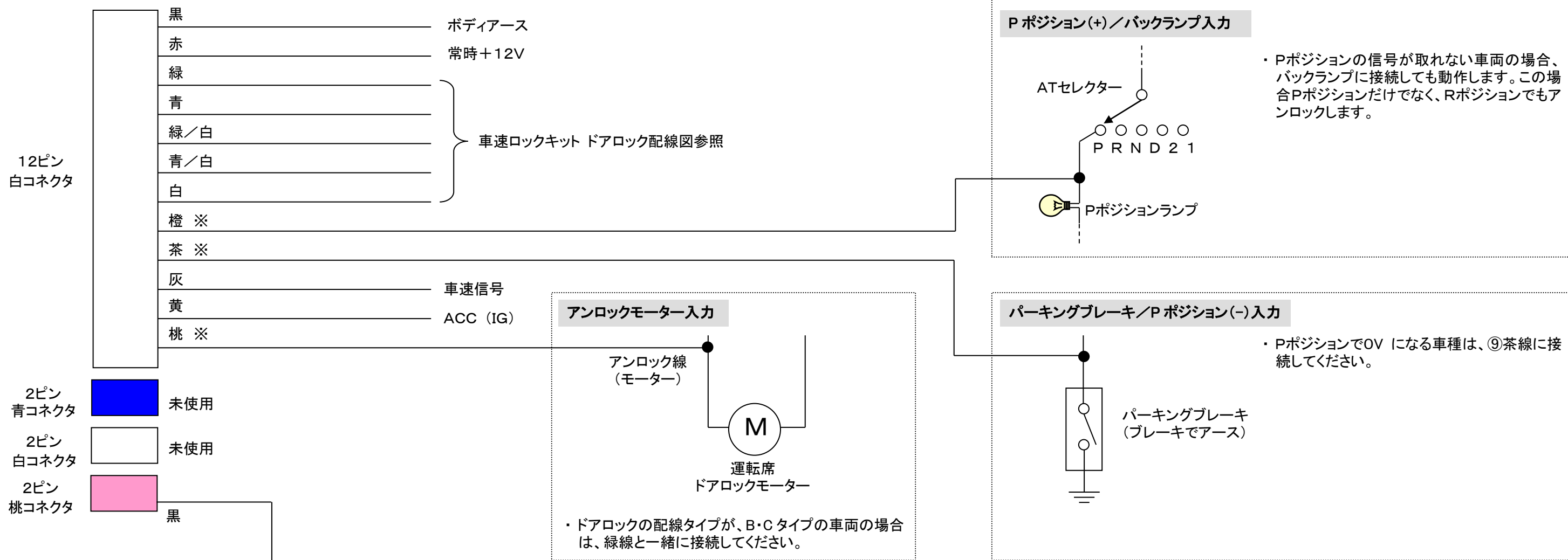
最近のトヨタ車は、シートベルトをしていると車速ロックしません。こういった車種に取り付ける場合は、必ず2ピン桃コネクタの黒線を接続してご使用ください。
※ 本製品はシートベルトを一時的に非装着状態にするため、ロック・アンロック時にシートベルト警告灯が一瞬点灯し、場合によっては警告音が一時鳴る場合がありますが、故障ではありません。また、純正ナビでテレビ表示中に本キットがアンロックした場合、一時的にテレビ表示がキャンセルされる場合があります。

6. 配線検査方法

	手順	正常	異常	原因・備考
1	コネクタを挿す。	アンロックする。 → 2へ。	アンロックしない。	③緑線、⑦白線の結線不良。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	①黒線、②赤線の結線不良。
2	シートベルトを外して車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 → トヨタ車:3へ。 → その他:5へ。	ロックしない。	⑤緑/白線の結線不良。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	4へ。
3	シートベルトをして車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 → 5へ。	ロックしない。	2ピン桃コネクタの黒線を接続する。
4	⑩灰線を車から外し、ボディアースに断続的に接続する。(1秒間に3回以上、接続させたり、離したりする。)	ロックする。 → 5へ。	ロックしない。	正常時:⑩灰線の結線不良。 異常時:ジャンパーの設定を確認する。 (必ずロック速度を「遅い」の設定に行ってください。)
5	・シフトをPの位置にする。 ・パーキングブレーキをかける。 (それぞれ接続している場合)	アンロックする。	アンロックしない。	⑧橙線(Pポジション入力) ⑨茶線(パーキングブレーキ入力)の結線不良。
6	エンジンを止める。	アンロックする。	アンロックしない。	⑪黄線の結線不良。

基本結線図

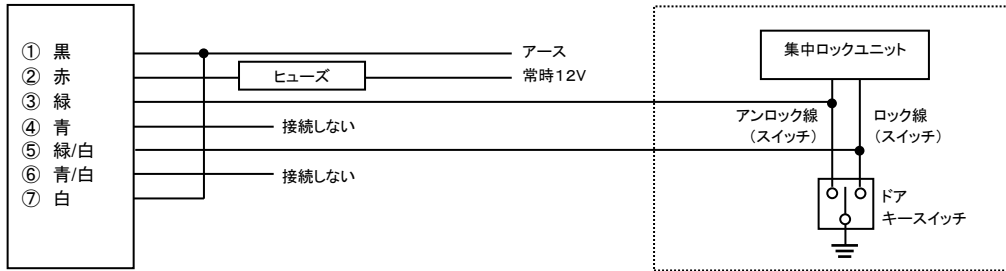
※は接続しなくても動作します。



ドアロック基本結線図 (必ず当社のホームページで配線タイプを確認して配線してください。)

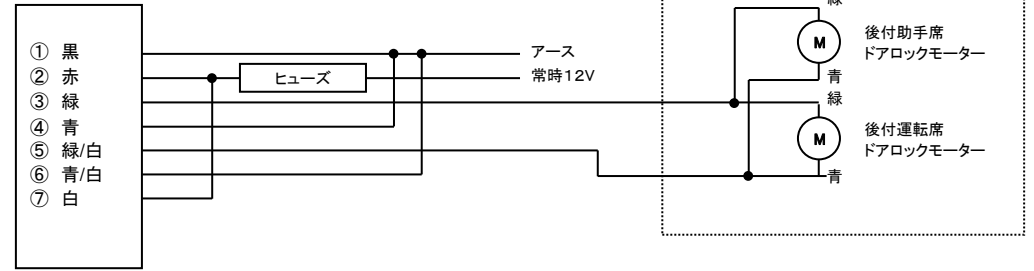
Aタイプ (例:ほとんどのトヨタ車)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール(信号線をアースに接続するとロック・アンロック)の車種



Bタイプ (例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いていない車)

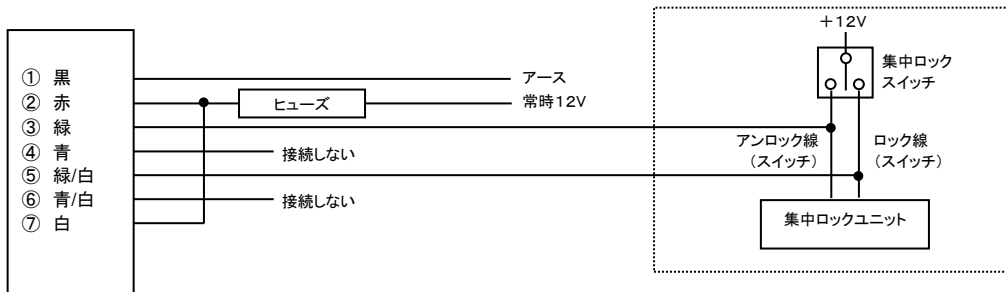
ドアロックモーターが付いていない車種



・ドアロックモーターの取り付け方向によっては、緑と青の配線が逆になる場合があります。
 ・2個以上使用の場合は、図のように並列に接続してください。

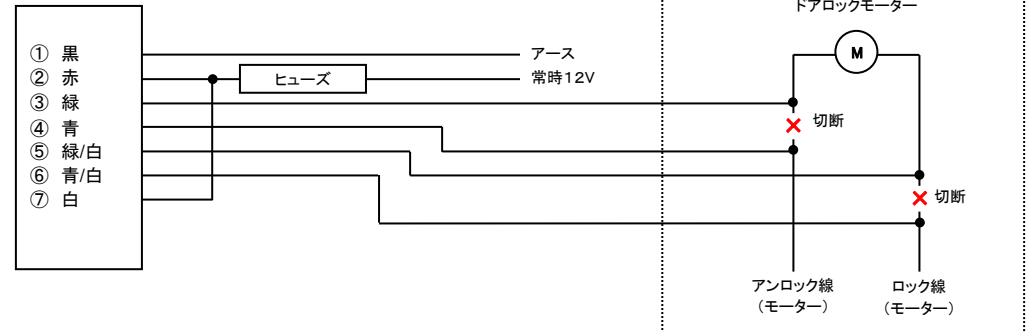
Dタイプ (例:BMW E32・E34・E36・E38・E39 等、GOLF3 やアメ車の一部等)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール(信号線を+12Vに接続するとロック・アンロック)の車種



Cタイプ (例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いている車)

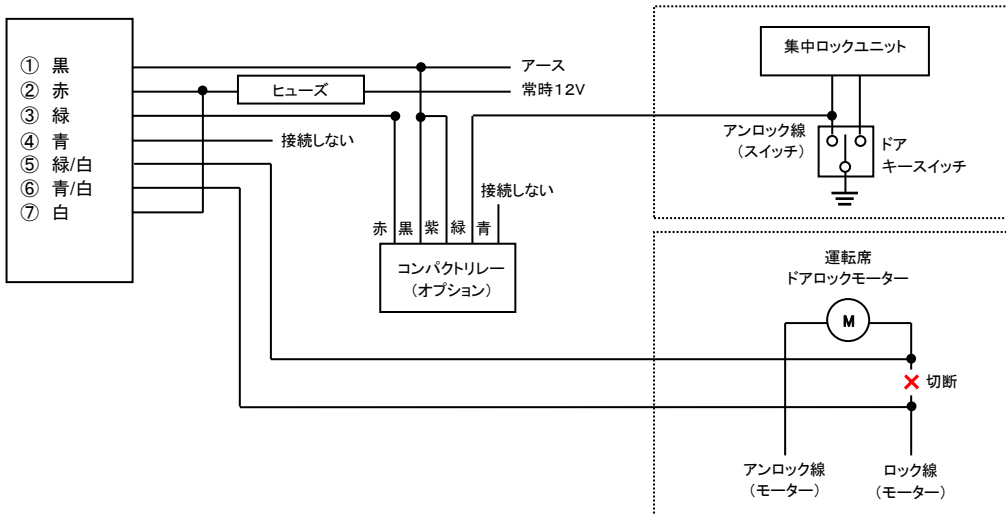
全ドアにドアロックモーターが付いていて、運転席のロックノブで集中ロックができる車種



・青、緑、青/白、緑/白は向きに注意して接続してください。モーター側が緑、緑/白です。
 ・青(青/白)の線と緑(緑/白)の線を逆に接続すると、ショートしてヒューズが飛びます。
 ・社外キーレスと同時に取り付ける場合は、ロック線・アンロック線共に直列になるように配線してください。

ロック:Cタイプ アンロック:Aタイプ (RB1・2系オデッセイ、RG1~4系ステップワゴン等)

ロックがCタイプ、アンロックがAタイプの車種(オプションのコンパクトリレーが必要)



【当社キーレスと併設する場合】

- ① 図のようにアンロック線をカット後、モーター側のアンロック線に本体の緑線を接続。
- ② 本体の青線をキーレスの緑線へ接続。
- ③ キーレスの青線を車両側のアンロック線に接続。
- ④ ロック線も同様にカット後、モーター側のロック線に本体の緑/白線を接続。
- ⑤ 本体の青/白線をキーレスの緑/白線へ接続。
- ⑥ キーレスの青/白線を車両側のロック線に接続。

【常時電源について】

赤線の電源は、必ず15A以上の容量の大きな線に接続してください。
 (オーディオ裏は、容量が小さいのでうまく動作しない可能性があります。)

ドアロック配線検査手順

- ・検査は必ず本体からカプラーを抜いて行ってください。
- ・必ず順序 1 番から 5 番まで、飛ばさずに確認してください。
- ・手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。
- ・検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査時は必ず軍手等を使用して下さい。



Aタイプ (検査ピン1本使用)

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と黒の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む	ロック	緑／白または黒線の結線不良
2	緑と黒の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と白の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

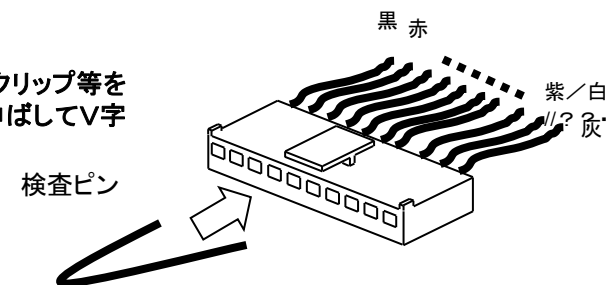
Dタイプ (検査ピン1本使用)

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と白の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

ロック:Cタイプ アンロック:Aタイプ

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約 0.5 秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	緑線またはコンパクトリレーの結線不良
3	緑／白と白の穴に別の検査ピンを約 0.5 秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を 1 本または 2 本ご用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作してください。



B・Cタイプ (検査ピン2本使用)

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑と黒の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態で、緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約 0.5 秒差し込む。	ロック	緑、黒、緑／白または赤線の結線不良
2	緑／白と青／白の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態で、緑と赤の穴に別の検査ピンを約 0.5 秒差し込む。	アンロック	青／白または緑線の結線不良
3	緑と青の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態で、緑／白と白の穴に別の検査ピンを約 0.5 秒差し込む。	ロック	青または白線の結線不良
4	緑／白と青／白の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態で、緑と白の穴に検査ピンを約 0.5 秒差し込む。	アンロック	白線の結線不良

- ・2本の検査ピンは、絶対にショートさせないでください。
- ・ヒューズが飛ぶ場合は、青(青/白)線と緑(緑/白)線が逆に接続されている可能性があります。